

1. 章立て

投稿論文を日本語で執筆する場合、章は、日本語で執筆の場合は全角数字を用いて「1.」と表記し、英語で執筆の場合は半角数字を用いて「1.」とする。節、項は、半角数字を用いて「1.1」「1.2.3」のように表記する。

1. ○○○・・・章 (日本語) 1. (英語)

1.1 ○○○・・・節 (日本語、英語共に)

1.1.1 ○○○・・・項 (日本語、英語共に)

2. 脚注

脚注番号は、該当箇所あるいは文末右肩に、1, 2 のように表記し、脚注内容は頁下に掲載する。

3. 数字の記載方法

日本語で数字を記載する際は、以下のように、1桁のものは全角数字を、2桁以上のものは半角数字を用いて、それぞれ表記する。なお、英字や英語記号と組み合わさった数字や脚注番号は1桁であっても半角数字を用いること。

5%上昇した

25%の下落

2023年9月

3-20頁

4. 参考文献

末尾に「参考文献」の一覧を設け、下記の表記方法に従い表示する。表示の順番は、和書は著者の五十音順、洋書は著者のアルファベット順とする。

本文中で参考文献を引用する場合は、「著者名(姓のみ)(出版年)」または「(著者名(姓のみ)出版年)」と記載する。

和書：著者名 (出版年), 「論文名」『雑誌名』巻号, ○○-○○頁.

：著者名 (出版年), 「論文名」編者名編『書名』出版社, ○○-○○頁.

：著者名 (出版年), 『書名』出版社.

※著者が3人以上の場合は、参考文献リストにおいては、「第1著者・第2著者・第3著者」と表記。
(本文中は「第1著者名他」と表記)

洋書：著者名 (出版年). “論文名.” *雑誌名*, vol. (No.), ○○-○○.

：著者名 (出版年). “論文名.” In *書名*, edited by 編者. 出版社, 出版地, ○○-○○.

：著者名 (出版年). *書名*. 出版社, 出版地.

※著者は、姓→名、2人目以降の著者は、名→姓の順で記載。

著者が3人以上の場合は、「参考文献」においては、「第1著者, 第2著者 and 第3著者」と表記。
(本文中は「第1著者名 et al.」と表記)

例) 和書

浜田宏一 (2003), 「平成不況の性格：経済理論からの接近」『経済分析』第 169 号, 1-21 頁.

安部由起子・大石亜希子 (2006), 「妻の所得が世帯所得に及ぼす影響」小塩隆士・田近栄治・府川哲夫編『日本の所得分配一格差拡大と政策の役割』東京大学出版会, 185-209 頁.

釜江廣志 (1999), 『日本の証券・金融市場の効率性』有斐閣.

例) 洋書

Caballero, Ricardo J. and Mohamad L. Hammour (1996). “On the Timing and Efficiency of Creative Destruction.” *Quarterly Journal of Economics*, 111(3), 805-852.

Acemoglu, Daron and David Autor (2011). “Skills, Tasks and Technologies: Implications for Employment and Earnings.” In *Handbook of Labor Economics*, Vol. 4, edited by Orley Ashenfelter and David Card. Elsevier, Amsterdam, 1043-1171.

Johnson, Harry G. (1958). *International Trade and Economic Growth: Studies in Pure Theory*. George Allen & Unwin Ltd, London.

5. 図表

図及び表の上には、図表番号とタイトルをつける。図表番号は図と表で区別し、本文中に言及された順序で図 1、図 2、表 1、表 2（英語で執筆する場合は、Figure 1、Figure 2、Table 1、Table 2）となるよう、それぞれ通し番号をつける。

図表は白黒で印刷したときに鮮明なものを準備すること。

6. ファイル形式

論文原稿は Word または LaTeX で作成し、図表を貼り付けて、PDF 形式に変換した完成版とともに提出すること。図表を Excel 等の他のソフトウェアで作成した場合は、元の Excel ファイル等も併せて提出すること。